

エレン・G・ホワイト著

Faith and Works

➤神の前に罪を深く悔い改めた罪人が、自分に代わってキリストが償い（→贖い）となられたことを認め、それを自分の現在の生活と将来の人生の唯一の希望として受け入れるとき、彼の罪は赦されます。

→原文：As the penitent sinner, contrite before God, discerns **Christ's atonement** in his behalf and accepts **this atonement** as his only hope in this life and the future life, his sins are pardoned.

悔い改めた罪人が神の前に悔い改め、自分に代わっての**キリストの贖い**を認識し、**この贖い**を現在と未来における人生の唯一の希望として受け入れるとき、彼の罪は赦される。

これが、**信仰による義認**です。すべての信じる魂は、自分の意志を完全に神の御心に従わせ、あがない主による**償い**（→贖い）の功績に対する信仰を働かせ、力から力へ、栄光から栄光へと前進しながら、悔い改めと心の砕けた状態を保たなければなりません。

→This is **justification by faith**. Every believing soul is to conform his will entirely to God's will and keep in a state of repentance (悔い改め) and contrition (悔い改め), exercising faith in the atoning merits (償いの功績<贖いの功績) of the Redeemer (救い主) and advancing from strength to strength, from glory to glory.これが信仰による義認です。すべての信じる魂は、自分の意志を神の意志に完全に一致させ、悔い改めと悔い改めの状態を保ち、救い主の償いの功績に信仰を働かせ、力から力へ、栄光から栄光へと前進しなければなりません。

➤赦しと義認はひとつであり、同じことです。信仰を通して信じる人は、反逆者、また罪とサタンの子としての立場から、キリスト・イエスに忠実に従う者としての立場に移り変わります。それは彼の生まれつきの徳によってではなく、キリストがご自分の子たる身分を授けることによって彼をお受け入れになったからなのです。**罪人がその罪をゆるされるのは、身代わりであり、保証人であるお方がその罪を負われたからです。**主は天の父に語って言われました。「これは私の子です。私は、彼に私の生命保険証券、つまり永遠の命を与えることによって、彼の死刑の執行を猶予しました。それは、私が彼の代理となり、彼の罪のために苦しみを受けたからです。彼は私の愛する子なのです」。このようにして、**人は赦され、キリストの美しい義の衣におおわれて、神の前に傷なき者として立つのです。**

➤罪人は間違いを犯すかもしれませんが、あわれみなく見捨てられることはありません。しかし、彼の唯一の希望は神に対する悔い改めと、主イエス・キリストへの信仰です。**私たちの犯罪と罪を赦すのは父の特権です。なぜなら、キリストが私たちの罪責を負われ、私たちが赦し私たちの刑の執行を猶予し、ご自分の義を私たちに着せてくださったからです。ことによって、私たちの不義と罪を赦すことは御父の特権です。**キリストの犠牲は、正義の要求を十分に満たすのです。

→The sinner may err, but he is not cast off without mercy. 罪人は間違いを犯すかもしれないが、容赦なく見捨てられることはない。His only hope, however, is repentance toward God and faith in the Lord Jesus Christ. しかし、彼の唯一の希望は、神に対する悔い改めと主イエス・キリストへの信仰です。It is the Father's prerogative to forgive our transgressions (犯罪) and sins, because Christ has taken upon Himself our guilt and reprieved us, imputing to us His own righteousness. His sacrifice satisfies fully the demands of justice. **犯罪と罪を赦すのは父の特権です。なぜなら、キリストは私たちの罪を自ら引き受け、私たちが赦し、ご自身の義を私たちに押し付けたからです。彼の犠牲は正義の要求を十分に満たします。**

➤義認は、罪の宣告の反対です。神の限りないあわれみは、それにまったく値しない者に対して働かれます。神は、私たちの罪のあがないの供え物となられたイエスのために罪をお赦しになります。キリストへの信仰 (Through faith in Chris) をとおして、~~有罪の~~**罪を犯した**罪人は、神の恩寵のもとに、永遠の命の強い希望のうちに**入れられるのです**と与えられます。

→Through faith in Christ, the guilty transgressor is brought into favor with God and into the strong hope of life eternal. キリストへの信仰を通して、罪を犯した罪人は神に好意の下、永遠の命という強い希望と与えられる。

